



りそな銀行アジアニュース

2023年9月12日
りそな銀行 国際事業部

【上海駐在員事務所】

「マクロプルーデンスモデルに関する外債枠の拡大」

中国人民銀行及び外貨管理局は、企業及び金融機関のオフショア資金調達を拡大し資産・負債構成の最適化を誘導することを目的に、クロスボーダー融資マクロプルーデンス調整係数の調整(2023年7月20日実施)を通知しました。これに伴い、クロスボーダー融資(外債)限度額の計算に用いられるマクロプルーデンス調整係数が従来の1.25から1.5に調整され、企業の外債限度額は従来の純資産額(直近の監査報告書基準)の2.5倍から3.0倍に拡大されることとなります(2022年10月に続く同係数の調整)。

■ 一般企業のクロスボーダー融資リスク加重残高上限の計算方法は以下の通りです。

《一般企業の場合》

※銀行・ノンバンクのレバレッジ率はそれぞれ1.0

資本金・純資産額	×	レバレッジ率	×	マクロプルーデンス調整係数	=	外債枠上限
純資産		2.0		(従来)1.25 →1.5		(従来)純資産の2.5倍 →純資産の3倍

《クロスボーダー融資リスク加重残高計算に関する因数(変更なし)》

リスク因数	区分	数値
期限リスク転換因数	中長期融資(1年超過)	1.0
	短期融資(1年以下)	1.5
類別リスク転換因数	オンバランス融資	1.0
	オフバランス融資	1.0
為替リスク転換因数	外貨建て	0.5

(マクロプルーデンスモデルの外債枠上限及び残高管理の計算例: 純資産額100、借入金200の場合)

- 外債枠上限 $100 \times 2.0 \times 1.5 = 300$ (上限金額)
- 残高管理
 - RMB・中長期: $200 \times 1.0 \times 1 = 200$ (上限範囲内) < 300
 - RMB・短期: $200 \times 1.5 \times 1 = 300$ (上限範囲内) = 300
 - 外貨・中長期: $200 \times 1.0 \times 1 + 200 \times 0.5 = 300$ (上限範囲内) = 300
 - 外貨・短期: $200 \times 1.5 \times 1 + 200 \times 0.5 = 400$ (上限超過) > 300

照会先: 国際事業部 (東京)電話 03-6704-3798
(大阪)電話 06-6268-1907

当資料は海外進出をされている日系企業のお客さまのために、信頼できると思われる情報に基づいて作成しておりますが、弊行がその正確性、現実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前の連絡なしに変更されることもあります。当資料は情報提供のみを目的としており、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、お客様御自身でご判断下さいませようお願い致します。 *禁無断転載